

株式会社大都技研

実証済技術

業務用厨房シンク型 油水分離回収機 グリス・ECO DS-2 750-600P [社員食堂]

実証番号 有機性排水：020-0902, 020-0903, 020-1001, 020-1102, 020-1101, 020-1202 計6件



写真1 業務用厨房シンク型油水分離回収機
様々な実証技術を試した日本工業大学学食が最終的に採用したもの

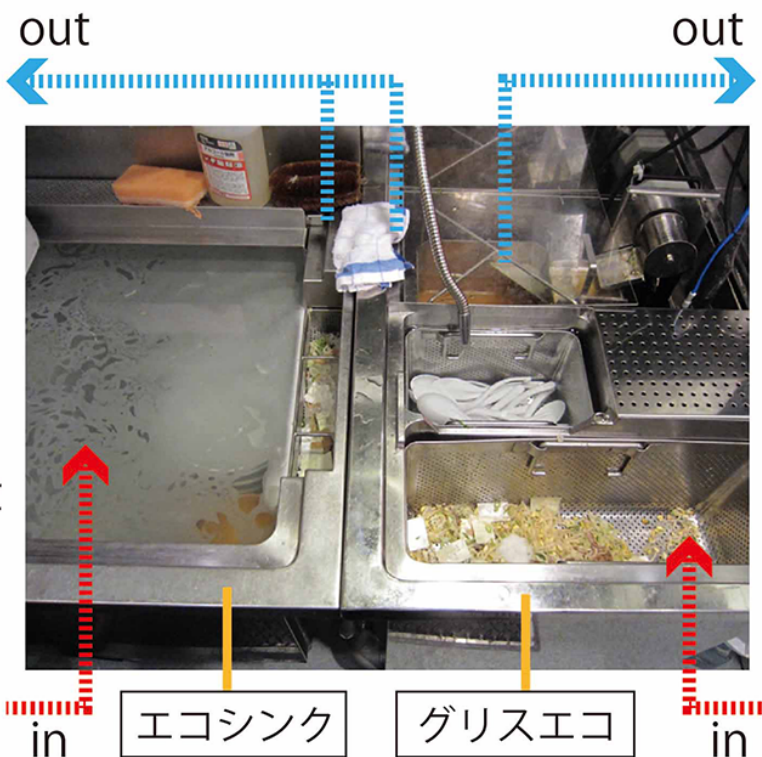
ETVに関する事業者様のエピソード

弊社は積極的な営業は行っていないですが、環境省ETVのホームページを見たとの問合せを受けた受注が増えています。営業は、電話やメールで依頼を受け、現地調査後、問題分析と導入提案を出し、受注といった流れとなりますが、ETVは実地性能を第三者機関が調べた値であり、我々としても、性能に対するユーザーへの説明が容易になりました。環境省のホームページにデータが幾つもあり、特に大企業ご担当者様においては、本技術選択の正当性の裏付けと、本技術選択の安心感に繋がっていると伺っています。

導入事例・技術概要



処理水



どんぶり等 out



回収油

残飯・残汁



各種業務用厨房シンク型油水分離回収機の主な導入先

YKK株式会社	H27年11月、H28年8月
日本精工株式会社	H27年8月
日本工業大学	H23年8月、H25年9月
株式会社 ジーエス・ユアサ コーポレーション	H21年8月、H23年1月
村田製作所	H22年9月、H26年5月
株式会社サイゼリヤ	H28年7月
天下一品	H14年8月 H21年9月 H22年6月 H24年9月 H26年6月

導入事例・技術概要（続き）

導入の意義

『浄化施設や公共インフラにダメージを与えないように』

現状の問題点

排水中の油脂分が多いと店内外の排水管やグリーストラップが詰まり、清掃作業の人的、金銭的負担が大きくなる。
さらに、取りきれない油が浄化槽や下水道へ流入し、水質の悪化、汚泥量の増大により処理費用が増え、水環境の悪化を招いている。



- ・「グリス・ECO(グリスエコ)」は世界で最初に作られた業務用厨房シンク型油水分離回収機です。
99%以上の油脂阻集効率と回収油脂のリサイクルが可能です。それらが評価され2005年愛知万博で世界環境技術100選に選ばれ「愛・地球賞」を受賞しました。
- ・ラーメン店などの飲食店から社員食堂、食品工場まで幅広く対応することが可能です。動植物油だけでなく鉱物油にも対応できます。
- ・衛生工学会規格(SHASE-S217)で99.5%以上の除去能力で適合を受けています。グリーストラップに代わる油阻集器となります。
実地性能のETVでも90～99%の除去能力で、グリーストラップのないラーメン店も出店可能です。
- ・油が取れ、排水処理は楽になります。配水管詰まりの防止だけでなく、悪臭防止や、浄化施設の小型化、維持管理費用の削減にもなります。
- ・飲食店の厨房床の低床化・フラット化が可能です。
- ・ISO14001や温暖化対策としての取組にもなります。(食品産業の温暖化対策チェックシートに事例が記載されています)
- ・「グリス・ECO(グリスエコ)」の後段のグリーストラップで悪臭を伴う清掃負担が軽減され、従業員やアルバイトの離職防止になっています。

企業情報・連絡先

株式会社大都技研

〒328-0111 栃木県栃木市都賀町家中 2459-2

TEL : 0282-28-0606

WebSite : <http://www.greaseeco.co.jp/>

<https://jgoodtech.smrj.go.jp/corporations/707?locale=ja>

当資料に関して ETV に関する事業者様のエピソード及び技術概要については、
事業者様の責任においてご紹介いただく内容であり、環境省及び実証機関は、内容に関して一切の責任を負いません。

環境省 環境技術実証事業

事業の詳細、その他の実証結果はウェブサイトに掲載しております。 <http://www.env.go.jp/policy/etv/>